

2021年10月29日

## 株式会社ミスターマックス・ホールディングスと「ESG 経営支援私募債」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型社債商品である「ESG 経営支援私募債（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャルグループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の社債商品となります。

本日、株式会社ミスターマックス・ホールディングス（代表取締役社長 平野 能章）は、本商品を発行いたしました。

### 【高い評価を受けた ESG の取り組み】

環境側面（E）では、環境への取り組みに関する企業方針として「ミスターマックス環境方針」を策定・公表の上、自社独自の基準である「選定基本基準 3R+C、N」に合致した環境配慮型商品を選定・販売されている点や、マイバッグ運動の促進や植物性プラスチックを使用したレジ袋の採用などにより自社サプライチェーン上で発生する環境負荷の低減に取り組まれている点が高く評価されました。

社会側面（S）では、育児休業制度や時短勤務制度を整備され、実際に現在の育児休業の取得率及び復職率は 100%を達成されているなど、働きやすい職場環境づくりに取り組まれている点や、地域コミュニティとの共生に向けた取り組み（施設建設時の住民説明会の開催や地方自治体との防災協定の締結、自社事業に起因する騒音/悪臭被害を回避・軽減するための入念な対応策の実施など）を積極的に行われている点が高く評価されました。

ガバナンス側面（G）では、取締役会の実効性評価について第三者機関を交えて適切に実施している点や、独立社外取締役が委員の半数を占め、かつ独立社外取締役が委員長を務める指名・報酬諮問委員会を設置の上、同委員会が取締役の選任や取締役の報酬決定に責任を負うことにより、取締役選任や取締役報酬の決定に係る意思決定プロセスの透明性・客観性を担保している点が高く評価されました。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上